

ドングリ まめ知識

西田佐知子

ドングリとは？

ふつう、ブナ科のコナラ属やシイ属、マテバシイ属などの樹木が作る実を呼びます。ここでは広く、ブナ科の実と覚えておきましょう。

野外観察園で見られるブナ科の樹木

イチイガシ、ウバメガシ、ウラジロガシ、シラカシ、マテバシイ、アオナラガシワ、アベマキ、カシワ、クヌギ、クリ、ナラガシワ、ブナ、ミズナラ、モンゴリナラ、アラカシ、スダジイ、ツクバネガシ、アカガシワ

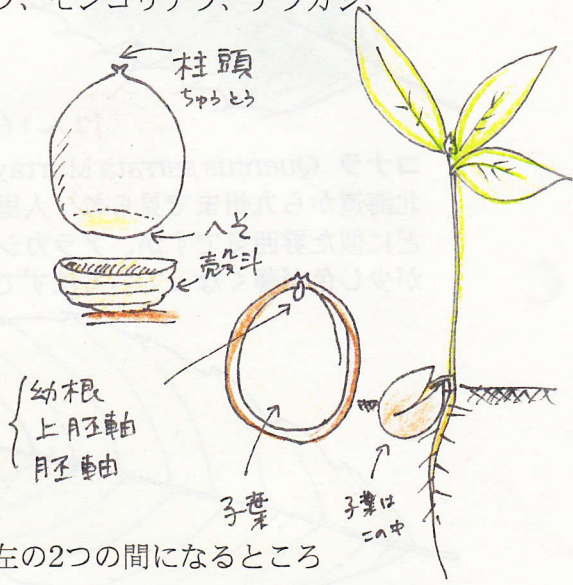
→この中でドングリをつけていた木は？？？

ドングリの帽子？ドングリのへそ？-ドングリの各部位-

柱頭：雌しべの上にある、花粉を受け取る場所

へそ：母木から養分が送られてくる場所

殻斗：総ほう（花の下にあり、他の花の部分を包むもの）が変化したもので、「帽子」と呼ばれたりする



ドングリの中はどうなっている？

子葉：植物がふつう、最初に作る葉で、ドングリの仲間はしろう二つつけるので「ふたば」「双子葉」と呼ばれる

幼根・上胚軸・胚軸：根を作る部分・茎や葉を作る部分・左の2つの間になるところ

ドングリの成長

1年成ドングリ：春に花が咲く → 夏にドングリが成長する → 秋に落ちる

2年成ドングリ：春に花が咲く → 夏・秋・冬はあまり変化しない → 翌春・夏に成長する → 秋に落ちる

1年成ドングリの仲間：コナラ、カシワ、ミズナラ、（クリ、ブナ）、イチイガシ、シラカシ、アラカシ

2年成ドングリの仲間：クヌギ、アベマキ、ウバメガシ、ツクバネガシ、ツブラジイ、スダジイ、マテバシイ、シリブカガシ

ドングリの邪魔者？たち

乾燥：ドングリは乾燥に弱く、落ちた場所があまりに乾いた堅い地面だと、乾燥して死んでしまう。

シギゾウムシの仲間：ドングリを食べる虫。成虫がドングリに小さな穴を開けて卵を産み、芋虫のような幼虫がドングリを食べて育つ。

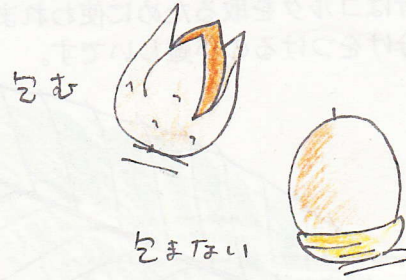
ネズミヤリス：ドングリを食べる動物で、秋には冬眠に備えて、森のあちこちに穴を掘ってドングリを貯めておく。しかし、どこにドングリを埋めたか忘れてしまうこともあり、その場合はドングリにとって「わざわざ遠くに運んでくれ、地面に穴を掘って植えてくれた恩人」といえるかもしれない。一方、ブナ科の木は「成り年」を作って、ネズミヤリスの食害に対抗していると言われている。



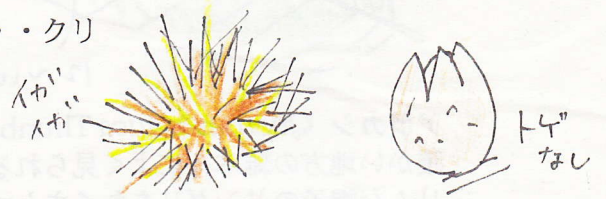
野外観察園や、名古屋の近辺でよく見られるドングリ：ウバメガシ、マテバシイ、アベマキ、クヌギ、アラカシ、スダジイ、クリ

見分け方（母木の特徴も忘れずに！）

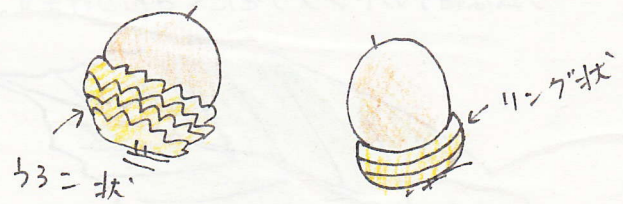
- 1 殻斗はドングリ全体をすっぽり包む・・・2へ
- 殻斗はドングリ全体を包まない・・・3へ



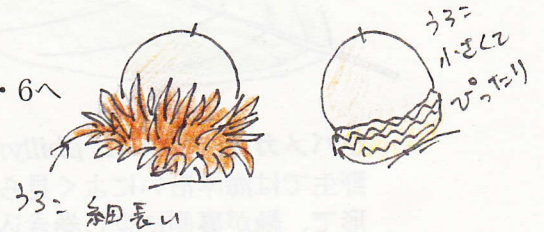
- 2 殻斗は長い針のようなトゲのあるイガになる・・・クリ
- 殻斗にトゲはない・・・スダジイ



- 3 ドングリの殻斗は、うろこ状・・・4へ
- ドングリの殻斗は、リング状・・・6へ



- 4 うろこは細長い・・・5へ
- うろこは小さくて殻斗にぴったりくっついて・・・6へ



- 5 春以外でも葉の裏は毛が多い。幹にコルク層が発達している・・・アベマキ
- 春以外は葉の裏に毛がほとんどない。幹のコルク層はあまり発達しない・・・クヌギ



- 6 葉は落葉（夏見ても、薄目で柔らかい）・・・コナラ
- 葉は常緑（夏見ても、やや厚めで丈夫）・・・7へ

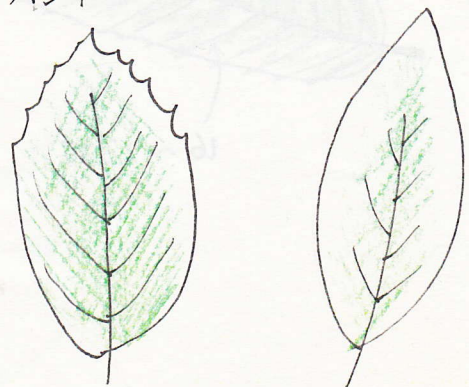
描けり... ゴム...

- 7 葉の縁が裏側に巻いているので、葉全体が丸くなって「胸を張っている」みたい・・・ウバメガシ
- 葉の縁はあまり裏側に巻いていない・・・8へ

★ウバメガシは葉が小さい！5センチ以下！
葉が大きい（8センチ以上）は8へ！

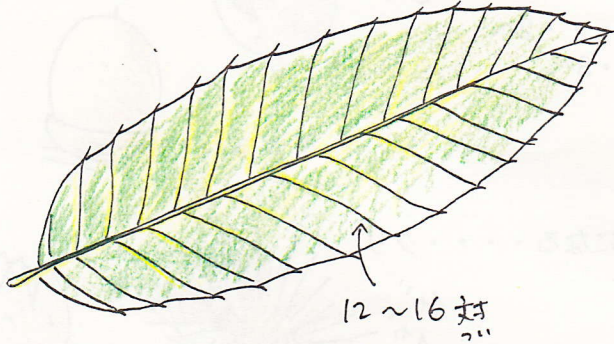


- 8 葉の上半分だけに、はっきりした鋸歯（ぎざぎざ）がある・・・アラカシ
- 葉には、あまりはっきりした鋸歯がない・・・マテバシイ



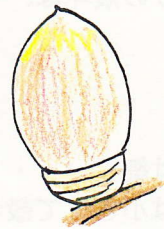
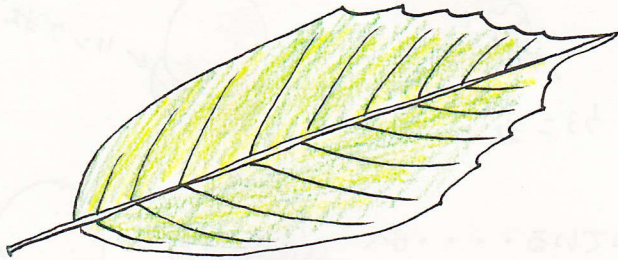
アベマキ *Quercus variabilis* Blume

東北から九州（中国・チベットにも）まで見られ、東海地方の雑木林に多い落葉樹です。昔はコルクを取るために使われました。ドングリは帽子に特徴がありますが、クヌギと見分けをつけるのが難しいです。



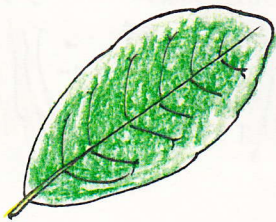
アラカシ *Quercus glauca* Thunb.

暖かい地方の雑木林によく見られる常緑樹です。公園などの樹木にもよく使われます。スリムな帽子のドングリをたくさんつけます。



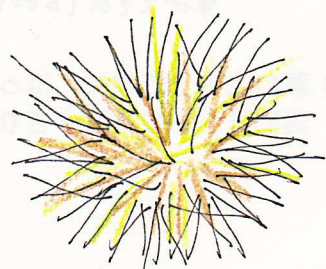
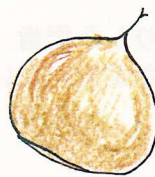
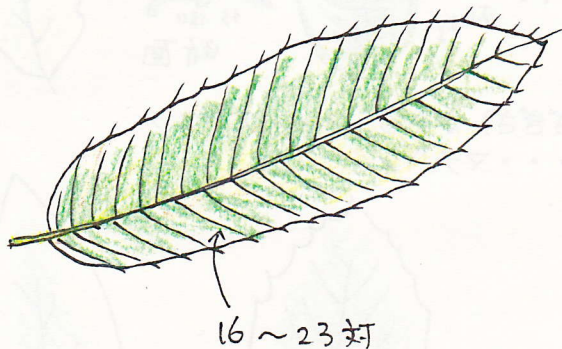
ウバメガシ *Quercus phillyraeoides* A.Gray

野生では海岸沿いによく見られる常緑樹です。街では生け垣によく使われます。葉が楕円形で、縁が裏側に少し巻き込むのが特徴です。



クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc.

食用に栽培されていることが多い落葉樹（冬に葉を落とす樹木）ですが、野生でも見られます。野生のものは「シバグリ」と呼ばれ、栽培のものより実が小さめです。北海道から九州まで見られます。

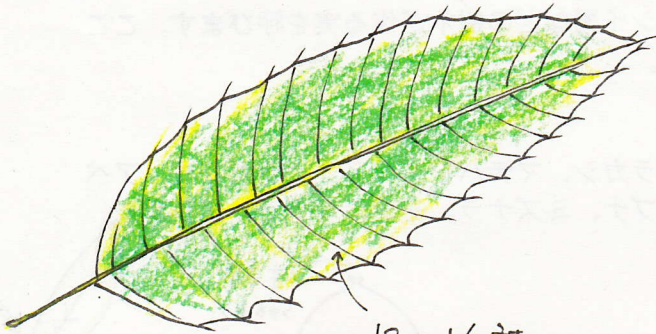


いへら...

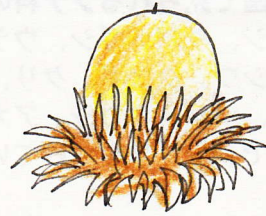
※ 実物大ではありませし

クヌギ *Quercus acutissima* Carruthers

東北から九州・沖縄まで見られますが、とくに西日本の雑木林に多い落葉樹です。アベマキととてもよく似ています。アベマキとの違いは、幹がアベマキほどでこぼこにならないこと、葉の裏に毛がないことなどですが、慣れないと分かりにくいでしょう。

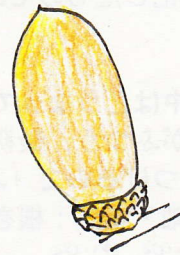
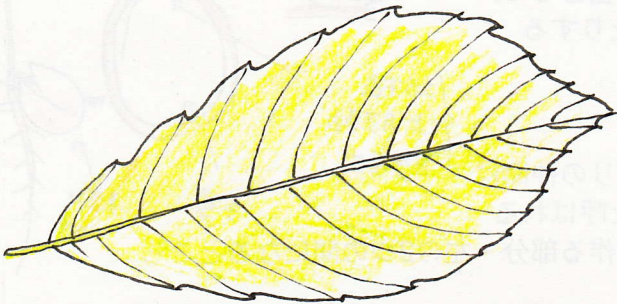


12~16 対



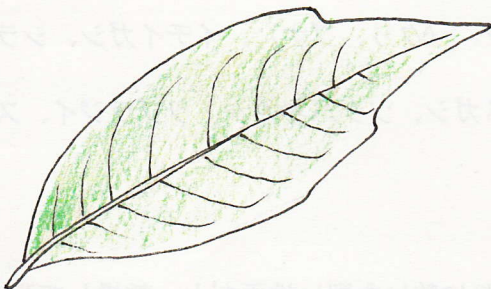
コナラ *Quercus serrata* Murray

北海道から九州まで見られ、人里近くの雑木林に多い落葉樹です。ドングリはアラカシなどに似た雰囲気ですが、アラカシなどと違って落葉であるため、ドングリを拾う頃には葉が少し色が薄くなっているはず。



スタジイ *Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii* (Makino) Nakai

暖温帯の照葉樹林（葉が常緑で、陽を受けるとつやつや照る樹木）の森や神社などに多く生える常緑樹（冬も葉が落ちない樹木）です。「椎の実」ドングリは渋みがなく、あく抜きしなくても食べることができます。福島県・新潟県から鹿児島島の屋久島まで見られます。



マテバシイ *Lithocarpus edulis* (Makino) Nakai

公園の樹木や街路樹によく使われる常緑樹です。アラカシにくらべて、葉の縁に鋸歯（ぎざぎざ）が少なく、葉が枝の先にやや集まってつきます。

